

JSSR 広報委員会議事録、2017年11月4日、東京コンファレンスセンター品川4階
12:00-13:15

出席者：山下敏彦、田中雅人、大谷晃司、小泉宗久、小谷善久、今釜史郎、鈴木秀典

1、改訂版 HP フォーマットについて

明るい色調で現代的なデザインを目指す。写真のフェードイン、フェードアウトなども取り入れる。基本的なフォーマットは患者用と医師用に大まかに分ける。患者用では症状、疾患、指導医リスト、専門医認定施設、参考図書などを項目とする。医師用は現状盛り込まれてる学会予定や入会案内や届け出、ログイン機能を保持する。

2、症状、疾患の項について

それぞれの項目には初版からの担当者名を3名ずつ入れる。今回行った改訂版は PDF とし各委員にメールして皆でチェックすることにする。それぞれのセクションには HP 上で PDF をつけて、ダウンロードや印刷をできるようにする。JSR のロゴ等をつけて、見やすい形で患者さんに渡せるようにする。いわゆるぎっくり腰（急性腰痛症）を追加したほうがよい。（症状または疾患）

3、追加すべき疾患名

脊柱後弯症、透析脊椎症、RA 脊椎、癒着性クモ膜炎を新規項目として追加する。分担については委員長に一任する。

4、用語の説明

脊椎インストルメンテーション手術、脊椎最小侵襲手術、脊椎ナビゲーション手術(CAOS)、脊髄モニタリングの簡単な説明を追加する。トピックスという項目を追加してもよい。用語委員会が作成した脊椎脊髄用語集をここに持ってくることも考慮してよい。

5、手術法の説明の追加

頸椎前方椎体置換術、頸椎後方固定術(PS, LM を含む)、VATS, PPS、内視鏡手術(PED, MEL)、LLIF、脊椎・脊髄腫瘍摘出術を2-3行の簡単な説明でよいので、図と共に紹介する。

6、今後の予定

①改定の時期の目標

次回の JSSR での委員会前までに HP のフォーマット、各項目の変更作業等を進め、委員会で決定、微調整を行い、来年夏の HP renewal を目指す。

②ワーキンググループ

試案の作成や調整メンバーとして、田中委員長と小谷善久、協力メンバーとしてみどりが丘病院の成田先生に協力を依頼する。成田先生の下承が得られたら山下理事からの依頼状をいただけることとなった。ワーキンググループは前回までの HP 作成会社を確認し、現在考えている HP フォーマットの試案を作成すると共に、費用の見積もりも行う。委員会までの作業段階で、各委員の意見をメール審議で求めていく。

以上 文責 小谷善久